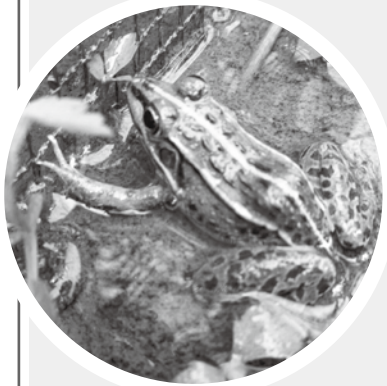
Column

トノサマガエル

西日本に分布する代表的なカエルのひとつです。特徴は何と言っても長い後ろ脚とそこから繰り出される強力なジャンプ力。5～10センチメートルほどの体の大きさですが、1メートル近い距離をひとっ跳びで移動することができます。

ジャンプする前の姿勢や敵への威嚇ポーズが堂々としており、「お殿さま」のように見えることから名前が付けられたそうです。

町内で見られるほかのカエルは、早いもので1月ごろから産卵が見られるのに対し、本種は比較的遅く、梅雨の後くらいまで繁殖が見られます。

雨が多くなるこの時期、姿勢がよく背中にまっすぐの緑のラインの入ったトノサマガエルを水辺で探してみませんか。